

☆第2土曜日

いい天気で新緑の森を散歩するにはうってつけの日でした。

今回の観察会はただ森を歩くのではなく、見頃の植



小椋市長が森に！

物の名前に注目しました。名前といっても、日本語、英語、フランス語…と、同じ生き物でも国（言語）によって名前が違います。例えば、タンポポですが英語で書くと「dandelion」と書きます。意味は「ライオン（lion）の歯（dande）」です。由来はタンポポのギザギザの葉っぱがライオンの牙に見えるからだそうです。こんな風に国ごとで生き物の名前が違っていると、同じ生き物が違う生き物として扱われたりして混乱がおきます。そこで世界共通の名前をつけようということで、1種類の生き物に対して1つの名前をラテン語で書くようになりました。これを学名といい、学名は「属名」と「種小名」で表します。属名はその中でも一番小さなグループの単位です。種小名は、その生き物を表す言葉や場所、発見者の名前など人の名前をかく場合があります。例えばタンポポ（正確にはカンサイタンポポ）は「*Taraxacum japonicum*」と書きます。「*Taraxacum*」が属名でタンポポの仲間を意味していて、「*japonicum*」が種小名です。意味は「日本の（*japonicum*）苦い草（*Taraxacum*）」となります。ヨーロッパではタンポポの葉っぱは食用とされ、苦みがありますがサラダなどに使われます。

さてこの季節は、新緑がとてもきれいです。ツツジの仲間のモチツツジも咲き始めていました。モチツツジの学名は「*Rhododendron macrosepalum*」で、「大きい顎のあるツツジの仲間」という意味です。同じツツジの仲間の

ヤマツツジと比べると、モチツツジの方が萼が大きいのが分かりました。



森のヨモギでお団子作ったよ～

他にも、見頃の花や新緑の森を楽しみました。

☆第2土曜日・作業内容

1. 草刈り

くさはら広場で、クズやセイタカアワダチソウ、ウドの手刈りをしました。昼からはちびっ子たちも混じり、幅広い年齢層で作業しました。

2. 水路の整備

浅い水路のところにたまっていた落ち葉を、泥になる前に外に出す作業でした。たっぷり落ち葉がたまっていたので、とてもスッキリ見た目も変わりました。

3. 竹林整備

冬に作った竹柵の材料に使わせていただいた森のそばの竹林での作業でした。こちらはモウソウチクやマダケが生えていますが、森に生えているのはハチクばかりなので、作業中に見つけたあまりに大きなタケノコにびっくり！

4. 炭出し

炭焼き名人が焼いてくださった炭を窯から出す作業です。グリーンバッグ3つほどとることができました。炭焼き名人いわく「今回の出来は、上々やけど材料が枯れ木で軽いのでしかできひんかった」そうです。

5. 昼食づくり

お楽しみの昼食のメニューは、タケノコご飯、筑前煮、豚と筍の炒め物、冷しゃぶ、冷しゃぶ、筍のお吸い物、青椒肉絲にポテトサラダと、デザートにはオレンジと炭焼き名人のお家で採れたみかんもありました。ベテランさんがそろい、品数も豊富でおなかいっぱいおいしくいただきました。

6月14日（第2土曜日）、25日（第4水曜日） 9時～（遅刻可）

遊林会の作業会議は **6月25日（水） お昼頃** *時間変更しています

主 催 者 : 遊 林 会

連絡先（遊林会事務局）：滋賀県 東近江市 河辺いきものの森 Tel 0748-20-5211 Fax 0748-20-5210

URL : <http://www.yurinkai.org/>

E-mail : ikimono@e-omi.ne.jp

森のブログは「かわべえふトク」で検索！

☆第4水曜日の作業

この日は7月の気候という天気予報の通り、陽差しが強く暑い中での作業でした。まずは枯れたコナラの伐採。久しぶりの伐採でしたが、手際よく作業は進み1時間足らずで終わりました。20センチの玉切りにし、来月の作業で薪にします。その後は2班に分かれてササ刈りを行いました。午後からも草刈りです。くさはら広場は第二土曜日でも作業しましたが、次々と生えてくるクズなどを手刈りしていきました。ドングリ広場はドングリの実生を残すため、手刈りをしてきたのですが、そこそこ大きくなったので、機械で一気に刈ることにしました。

お昼は豆ご飯とじゃこ飯、南蛮漬けに炭火で焼いたそら豆、森で採れた筍入りのかき玉汁、冷や奴、昆布の佃煮と、トマトサラダとポテトサラダと冷しゃぶサラダのサラダ3種で、暑い日に嬉しい爽やかメニューでした。

☆5月の木ままクラブ

5/15日 12人

木ままクラブは、10数年前に皆伐した萌芽エリアで、枯れてしまった木の伐採からです。サクラの仲間が多かったのは、サクラの仲間は直射日光を受けないと弱ってしまうことがあるので、茂ってきた周りの木に被圧されてしまったのかもしれませんが。その後はそのエリアで機械刈りです。昼からは雨が降り始めたので、作業は取りやめとなりました。

6月の活動は5日（木）です。

☆市長来訪！

5月の平日は連日小学校、週末はモリイコ！等と、子どもたちの声が響く日が続いています。そんな中、東近江市の小椋市長が、八日市北小学校4年生の活動の様子を視察に来られました。まずは同校の出身でもある市長から、4年生にお話をしていただきましたが、子ども向けに親しみやすいお話をいただき、子どもたちも熱心に聞き入っていました。

その後は市の担当者（丸橋）が市長を案内して森を一回りし、5月らしい爽やかな気候であったことも相まって、時間を延長するほど森を楽しめました。

☆遊林会いよいよ法人化へ

5月10日、第二土曜日の活動日の後、特定非

営利活動団体 里山保全活動団体 遊林会 の設立総会を行いました。立ち上げに向けての第一歩である設立総会では、すべての議題も承認され、書類も完成し、無事に県への申請手続きが終了しました。承認は9月頃の予定です。会員の仕組みなどについては、また通信や、ホームページなどでお知らせしていきます。

☆モリイコ！の子どもたち

2014年度のモリイコ！の第1回目がスタートしました。初めて出会う子どもたち同士、始めは少し緊張気味です。でも、外でみんなで体を動かして遊ぶと、みんな笑顔に！森探険では、葉っぱ遊びをしたりたくさんいきものを見ました。今回は虫が苦手な触れなかったり、カナヘビも自分たちでつかまえることはできませんでしたが、これから1年間活動する中で、どんなふうに成長するか？楽しみです。

モリイコ！Sもスタート！Sはモリイコ！を経験している、2年目以上の子どもたちの活動です。森探険へ行くとSの子どもたちは次々とバッタの赤ちゃんやカナヘビをつかんでいました。昼食も森の中で食べ、午後からはヨモギを摘んでヨモギ団子作りをしました。ヨモギ団子を刺す串やのせる器も竹から作りました。とっても美味しかったです！

☆森のコンサート、6月28日に開催♪

今年のコンサートは、森では初お目見えの「古楽器」による演奏です。トロンボーンの前祖「サクバット」とコントラバスの前祖「ヴィオラ・ダ・ガンバ」という楽器を、日本センチュリー交響楽団の楽団員さんが演奏してくださいます。500年前に演奏されていた楽曲から、新しくみなさんも聴き馴染みのある楽曲までさまざまな音色で楽しませてもらえること間違いなしです！みなさまのお越しお待ちしております♪

●6月28日（土）17時開場/17時30分開演

●料金は1,000円

申し込みは直接河辺いきものの森へお越しいただくか、お電話（0748-20-5211）にて受け付けをしています。（定員90名・先着順です）

☆6月の作業は…

6月も草刈りです。明るい森は草刈りが大変です。お昼はタケノコがまだいけるかな…？